

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科、2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本小児保健学会				

### 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	オレムセルフケア不足理論を取り入れた看護過程の検討 記録監査を用いた看護過程研修前後の看護師の認識変化	共著	日本小児看護学会第28回学術集会、名古屋市	長場美紀、田村佳士枝、添田啓子、櫻井育穂、望月浩江、勝本祥子、長谷美智子、古谷佳由理ほか	2018.7
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	日本学術振興会科研費基盤研究(C)	親のケア能力・子どものセルフケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の発展			平成28～30年度
2	日本学術振興会科研費基盤研究(A)	オレムセルフケア理論を基盤とした「こどもセルフケア看護理論」の構築			平成26～29年度(延長30年度)
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	小児看護学Ⅱ	2019.1	2年次生を対象に、小児の周手術期の子どもとその家族の看護について事例を活用して、講義を行った。		
2	小児看護学Ⅲ	2019.1～2019.2	2年次生を対象に、3グループ・2事例のPBLテュートリアル授業のファシリテーターを担当した。発表会では、発表の進行および質疑応答を通して全体像の共有を図った。		
3	小児看護学Ⅳ	2018.4～2018.8	3年次生を対象に感染症の乳児事例を用いて、小児看護特有の技術項目について学内実習、技術練習、技術テストを実施し、修得を支援した。		
4	子どもと家族のヘルスプロモーション	2018.4	小児専門病院における在宅連携部門での実践について、事前学習を進め、インタビューおよびそのまとめの指導を行った。		
(2) 演習					
1	卒業研究拡大ゼミ	2018.4～2019.1	小児看護学領域の卒研学生全員と教員が参加して開催している。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ・目的、計画書作成、結果を3回にわたって企画・開催し、共有し学びの場として活用している。また、卒研発表会の準備・調整・運営を行っている。		
(3) 実習					
1	小児看護学実習	2018.8～2018.12	3年生25名を5クール10週間にわたって、小児外科病棟での臨床実習指導を行った。子どもと家族の個別性に沿った計画立案・実施・評価について学びを深めることができた。		
2	IPW実習	2018.1	新規の療育施設における実習調整および学生の主体的な学びを支援した。		
(4) 論文指導					
1	卒業研究	2018.4～2019.1	3名の学生を担当し、各自の研究テーマに基づく計画書作成、倫理審査申請、施設との調整、データ収集、分析、論文作成・発表の指導を行った。		
(5) その他					

1	該当なし		
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	臨床家のための看護研究セミナー	埼玉県立大学専門職公開講座	4回のゼミナールのうち、第2回目「研究のレベルをあげる-文献のクリティーク」を担当し、クリティーク文献の提示、課題提示および概説を行った。また、毎回のグループ討議に参加し、計画書の検討を支援した。 2018.5.~2018.12
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	該当なし		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
1	該当なし		